- 2. データ処理の流れのいろは(アウトライン編 ①): 売上数量を集計してみよう。 演習のねらい:
 - ☆ ビジネスデータを処理する全体の流れを確認(入力→集計→加工)
 - ★ Excel 上でデータを扱う基本の復習

(演習問題)

あなたは、カフェでアルバイトをしています。カフェのオーナが販促に力を入れている「モン ブラン」=(6日間の目標売上個数300個)の売上についてチェックするよう指示されました。 売上個数は、4月12日(火):56個、4月13日(水):41個、4月14日(木):55個、4 月15日(金):71、4月16日(土):79個、4月17日(日):42個でした。

さて、これらのデータを入力して、「モン

ブラン」売上集計報告書を作ってみましょう。 集計報告書に盛り込む内容は、table 2:報告 書の内容の通りとします。伸び率(増加率)と 達成率は、%の単位で表記してください。

伸び率(増加率)は、前の日と次の日との

table 2:報告書の内容

- 6 日間の売上個数合計
- 毎日の伸び率(増加率)
- 目標売上個数達成率
- 6 日間の売上推移をチェックできるグラフ

売上個数の差が、前の日の何%を占めているか?という計算を行います。また、達成率は、火曜 日から日曜日までの合計売り上げ個数が、目標の売上個数の何%を占めているか?を計算しま す。

表をどう作成するか、報告書をどう作成するかは、各自好きなように考えてみましょう。

<考え方のポイント>

(1) 表の方向: 縦横の軸はどちらを持ってくる のが Better!?

作って失敗と思ったら、**行列を入れ替え**よう。

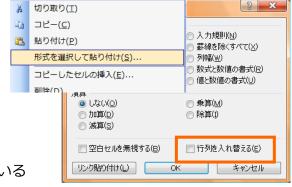


fig 5: 行列入れ替えの貼り付け

(2) データの形式: Excel では、実際に入力されている データと表示されているデータが異なることが、 しばしばあります。単位の付け方に

よって計算できる数値と数字に違いが でます。(詳細は授業で確認)

(3) 単位の付け方: どこにつけるべき? 表外につけるのか、それとも表内の **データ**につけるのか? 読みやすい表作成を心がけ判断しよう。

切り取り(T) <u></u> 그ピー(<u>C</u>) セルの書式設定 貼り付け(P) 表示形式 配置 フォント 罫線 パターン 保護 形式を選択して貼り付 分類(C): サンプル 標準値貨 55個 挿入(I)... 削除(D)... ∩"{**用** 数式と値のクリア(<u>N</u>) G/標準 分数指数 コメントの挿入(M) セルの書式設定(<u>F</u>). _* #,##0_;_* -#,##0_;_* "-"_;_@ _* #,##0.00_;_* -#,##0.00_;_* "-"??_;_

fig 5:数値データに単位をつける例

(4) 伸び率(増加率)と達成率の考え方:

公式を忘れてしまったら、**インターネットで調べよう**。ただし、<u>増加率の公式は、意外に間違って表記しているページが多いので、利用には注意が必要です。</u>

(5) 数式の入力:

=56+41+55+71+79+42 と入力しても計算は可能。→これは、オートフィルを利用できないので、**セルを参照させて数式を組み立**てよう。(詳細は授業で確認!)

(6) グラフの形式:棒グラフと折れ線どっちが Better!?

グラフの形式には、○、△はあっても、×がほとんどありません。**より適した形式のグラフを作成するために重要な判断材料となるものは、「何が見たいか」です**。何がとは、どの種類が多いのか? いつからいつへ増えたのか? 全体の傾向はどのようなものか? などなど。グラフ作成の参考資料:

http://rl-yasuko.chillout.jp/ mater/kyozai/data proces/print/graph.pdf

(7) 報告書の内容:

数値やデータとしては

table 2:報告書の内容の ように求められているも

のを盛り込みます。

文書の形式としては、

5W2H (**table 3 : 5W2H**

とは)を心がけ、ビジネス文書に即した形を作る

table 3:5W2H とは

Why(なぜ?)	なぜそのお仕事をする(した)?
What(何を?)	そのお仕事の内容は?
Where (どこで?)	どこでする(した)?
When (いつ?)	いつまでにする(した)?
Who(誰が?)	1人で?誰と?
How(どうやって?)	どんな方法でする(した)?
How much (いくらで?)	金額はいくらかかる(かかった)?

とほぼ、目的を達成することができます。

今回は、店長さんからの指示背景がわからないので、報告書に盛り込むのは、「When」、「Who」、「What」を盛り込んで作成しましょう。また、Excel のシート上で書式が整えにくい場合は、WORD にデータを貼り込んで作成しましょう。

解答例: http://rl-yasuko.chillout.jp/mater/kyozai/data_proces/data/montblanc.xls